

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「移住者/UIJ ターン就業」プロモーション事業
事業主体 (連絡先)	諏訪市 (長野県諏訪市高島 1-22-30、TEL：0266-52-4141)
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業 ⑧その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,094,831 円 (うち支援金：875,000 円)

事業内容

【地元就職への誘導】【商工課所管】

- 地元企業就職 PR 力強化事業補助金 3 社
- インターンシップ促進支援事業補助金 延べ 20 人

【県外在住の若者の県内移住の促進】

- 移住体験事業【地域戦略・男女共同参画課所管】
 - ・8/17～8/28 の期間で首都圏の大学生 1 名を受入
 - ・8/27 地域インターンプログラム市長報告会を開催
 - ・10/1～12/24 の期間でテレワーク移住体験希望の夫婦 1 組を受入

○情報発信体制の構築【地域戦略・男女共同参画課所管】

- ・6/23、7/5、7/15 にライティング講座を開催
- ・先輩移住者及び体験住宅入居者がライティング講座を受講し、“移住体験記”を寄稿。磨かれた情報を諏訪市移住サイトで発信した。



【ライティング講座の様子】

【目標・ねらい】

- ①UIJ ターン就業の促進
- ②若者の移住促進
- ③先輩移住者等とのプロモーションを意識した新たなコンソーシアムの構築

事業効果

- コロナ禍で非対面での採用活動が主流となるなか、企業 PR 動画を通じた採用活動を推進させ、積極的にインターンシップを促すことで、市内の企業と求人者のマッチングの機会を創出した。
- 今年度の移住体験事業でも、「暮らし」や「仕事」を体験できることは、体験者に与える影響が大きく、将来の諏訪市での暮らしのイメージを膨らませる一助となることが確認出来た。また、共同浴場やコワーキングスペース等での地元住民との交流・つながりが、移住希望者にとって地域に溶け込むきっかけとなり、移住に踏み切る重要な要素となることが確認出来た。
- 先輩移住者及び体験住宅入居者との連携により、ライティング講座を通して、訴求力のある文章の書き方を学び、プロモーションを意識した新たな情報発信のコンソーシアムを構築することが出来た。また、WEB 広告を用いて首都圏在住者を中心に諏訪市の魅力を“移住体験記”という形で多くの方へ発信することができた。

※自己評価【A】

【理由】

コロナ禍で採用 DX を推進することができたため移住体験をした夫婦が諏訪市に魅力を感じていた
 だけ、実際に諏訪市へ移住することとなったため。
 また、先輩移住者等との連携により、リアルな諏訪市の魅力を PR することが出来る訴求力の高い移住サイトを構築することが出来たため。

今後の取り組み

- ものづくりを支える優秀な人材を継続的かつ安定的な確保へとつなげるため、企業の採用 DX 推進を支援し、効率的な情報発信を展開する。
- 共同浴場やコワーキングスペースの事例から、地元住民とのつながりが移住に踏み切る重要な要素であることが確認出来たことから、先輩移住者の会などの気軽に移住希望者が入っていくことが出来るコミュニティをつくっていききたい。
- 当該事業で構築した情報発信のコンソーシアムを活用しながら、更なる先輩移住者の掘り起こしを行い、諏訪市移住サイトの充実を図ることで、情報発信力を強化していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある